平成25年度

埋蔵文化財調査士補

資格 試験 筆記問題答案用紙 (Ⅱ小論文)

受験番号	氏	名	п
В-			

試験日: 平成25年8月24日(土)

東京会場: 東京御茶ノ水「連合会館」 大阪会場: 大阪「大阪ガーデンパレス」

→ 日本文化財保護協会

【 II 】 次 の設 問 から2問 を選 び、400字 以 内 で述 べなさい。(横 書 きで記 述 すること)

問1 調査を実施するにあたり、現場着手以前に必ず学習しておくべき事柄を思いつく限り述べなさい。

「解答例】 論文中に以下のようなキーワードが記述されていること	100 (字
	200
	300
	400

問2 発掘調査で竪穴住居跡などの遺構全景を高い位置から撮影する場合、必要な準備や留意点を5項目挙げなさい。

	【解答例															
	1	9.A														
[① 広角	レンフ	ぐの使	用を杮	亟力 遏	主け、	標準	レンス	ぐを用	引いて	適切	な撮影	影範囲	と撮影		
		を求め	-		_,,,,									, , , , ,		
	2) 標準		-	切な技	最影單	囲と	角度	が得ら	られる	5距離	と高	さが行	导られ	んる位置]]	
	に権	・(タワ	7—)	を設置	置する) 。										
	3 櫓の	上での)撮影	は危い))	上に配	慮し	、し ^っ	っかり	した	足場	に三月	却を用	いて揖	ຼ ຼີ	
	影を	·行う。														100
	4 陰影	が乏し	くな	るので	で、極	边顺	光線	犬態σ	撮影	とな	るの	を避け	ける。			
(i	5 陰影	が明瞭	きとな	る薄目	日や忖	時下	で撮	影する	5。臺	天下	の撮	影は『	急影か	「弱すき	Ŝ	
	て遠	近感	(立体	感)に	こ乏し	くな	るの	で極力	選け	·る。						
	6 季節	によっ	って太	陽光(の位置	置や日	照時	間が昇	異なる	, 。遺	構の	陰影7	が撮影	に適す	-	
	る時	間帯を	選ん	で撮影	じする) 0										
	7) 太陽	ⅳ英⅃	こにあ	る時刻	刻で順	[光線	状態	の撮影	杉は、	撮影	者や	機材の	の影が	『遺構に	=	
	出る	ので過	主ける	0												
	8 撮影	の前に	こは、	写真に	こ写る	節囲	にあ	る邪魔	をなも	うの (発掘	用具、	足跡	大表土	=	
	の上	に堆積	責した	掘りと	出され	た土	など)	を防	法す	る。						
																200
	*以	上の準	≛備や	留意。	点から	5項	目以	上が歹	記さ	れて	いれり	ば可。				
								x								
								<u> </u>								
					<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>								
			T													
					I	1	1	l	İ	.l	.i		.1	.1		
					I	I		I				<u> </u>	1			
																200
																300
																300
																300
																300
																300
																300
																300
																300
																300

問3 発掘の前には、対象遺跡を事前調査して、発掘計画を策定し、機材の準備などを行うと思います。 古墳を発掘することになり、事前調査で粘土槨の主体部を持つと予想された場合、粘土槨から遺物を 取り上げるために、どのような保存処理の計画を作成し、機材を準備しますか。考えを書きなさい。

	 【解	答例】]												
	①遺	物の	材質。	と種類	ー ワ-	ードか	記述	され ⁻	ている	らこと					
	 3遺	物の		上げた	など))									
		学 管方			 , o										100 (
															200
	 		<u> </u>		 <u></u>	<u></u>		<u></u>	······	<u> </u>	<u></u>	 <u></u>	<u> </u>		
			I							<u> </u>			<u> </u>		
			I	İ		İ	<u> </u>								300
							I								
															400